

2009年度 再資源化等業務の実績公表

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
再資源化支援部

【2009年度の使用済自動車再資源化等の概要】

【期間】 2009年4月1日～2010年3月31日

< 特定自動車製造業者等からの受託業務の再資源化等の実績 >

フロン類は、前年実績23.5千台より1.1千台増え、24.6千台を処理した。

エアバッグ類は、前年実績23.0千台より0.7千台増え、23.7千台を処理した。

ASRの引取台数は、前年実績26.1千台より0.9千台増え、27.0千台を処理した。重量にして6.3千トンであった。

◆ 再資源化等契約状況

コード	契約者の氏名又は名称	契約締結年月日
013	株式会社光岡自動車	2004年10月1日
014	株式会社鈴商	2004年12月1日
602	株式会社オートレックス	2004年10月1日
603	株式会社オートリーゼン	2004年10月1日
604	オートトレーディングルフトジャパン株式会社	2004年10月1日
607	コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド	2004年10月1日
609	フィアット グループ オートモービルズ ジャパン株式会社	2004年10月1日
611	ゼネラルモーターズ・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社	2004年10月1日
612	ヒュンダイ モーター ジャパン株式会社	2004年10月1日
614	株式会社フォーピラーズ	2004年10月1日
615	エルシーアイ株式会社	2004年10月1日
616	三井物産オートモーティブ株式会社	2004年10月1日
618	ニコル・レーシング・ジャパン株式会社	2004年10月1日
621	ポルシェジャパン株式会社	2004年10月1日
622	日産トレーディング株式会社	2004年10月1日
623	ロールス・ロイス モーターカーズ リミテッド	2004年10月1日
625	日本ボルボ株式会社	2004年10月1日
627	オートイービジャパン株式会社	2006年 3月1日
631	フェラーリジャパン株式会社	2008年 7月1日
632	ワイ・エンジニアリング株式会社	2008年12月1日
633	株式会社RTC	2009年 6月1日
634	クライスラー日本株式会社	2009年 9月1日
700	株式会社加藤製作所	2004年12月1日
701	株式会社小松製作所	2004年12月1日
702	東急車輛製造株式会社	2004年12月1日
703	コベルコクレーン株式会社	2005年 3月1日

◆ 特定自動車製造業者等からの受託業務の再資源化量

品目	項目		2009年度	2008年度	
フロン類	引取重量	CFC引取重量	279 kg	303 kg	
		HFC引取重量	7,289 kg	7,059 kg	
		合計引取重量	7,568 kg	7,363 kg	
	引取台数	CFCの引取台数	1,112 台	1,157 台	
		HFCの引取台数	23,519 台	22,386 台	
		合計引取台数	24,631 台	23,543 台	
エアバッグ類	引取個数	回収個数 ※1	8,185 個	7,380 個	
		作動個数 ※2	75,626 個	71,336 個	
		合計個数	83,811 個	78,716 個	
	引取台数	回収台数	3,571 台	2,866 台	
		作動台数	20,028 台	19,994 台	
		一部回収／一部作動台数	95 台	104 台	
		合計台数	23,694 台	22,964 台	
	引取重量	引き取ったガス発生器の重量	5,824 kg	5,151 kg	
	ASR	引取台数	引き取った使用済自動車台数	27,048 台	26,141 台
		引取重量	引き取ったASRの重量	6,276 t	5,823 t

< 義務者不存在車等の再資源化等の実績 >

フロン類は、前年実績9.5千台より2.0千台減り、7.5千台を処理した。

エアバッグ類は、前年実績6.1千台より0.8千台減り、5.3千台を処理した。

ASRの引取台数は、前年実績25.0千台より6.3千台減り、18.7千台を処理した。重量にして4.8千トンであった。

これら三品目を処理するために要した費用は、前年実績3億5,723万円より8,195万円減り、2億7,528万円となった。

資金管理法から払い渡しを受けた預託金総額は、3億1,539万円であったことから、4,011万円の黒字となった。

◆ 義務者不存在車等の再資源化量

品目	項目		2009年度	2008年度	
フロン類	引取重量	CFC引取重量	406 kg	669 kg	
		HFC引取重量	1,912 kg	2,189 kg	
		合計引取重量	2,318 kg	2,858 kg	
	引取台数	CFCの引取台数	1,599 台	2,613 台	
		HFCの引取台数	5,889 台	6,869 台	
		合計引取台数	7,488 台	9,482 台	
エアバッグ類	引取個数	回収個数 ※1	834 個	1,179 個	
		作動個数 ※2	21,126 個	23,099 個	
		合計個数	21,960 個	24,278 個	
	引取台数	回収台数	399 台	572 台	
		作動台数	4,866 台	5,526 台	
		一部回収／一部作動台数	14 台	19 台	
		合計台数	5,279 台	6,117 台	
	引取重量	引き取ったガス発生器の重量	576 kg	845 kg	
	ASR	引取台数	引き取った使用済自動車台数	18,690 台	25,014 台
		引取重量	引き取ったASRの重量	4,758 t	6,414 t

◆ 収支

品目	項目	2009年度	2008年度
フロン類	払い渡しを受けた再資源化等預託金の額	16,951,696 円	21,414,715 円
	破壊に要した費用の総額	15,663,662 円	19,797,909 円
	収支	1,288,034 円	1,616,806 円
エアバッグ類	払い渡しを受けた再資源化等預託金の額	18,743,846 円	21,335,228 円
	再資源化等に要した費用の総額	18,287,166 円	17,651,825 円
	収支	456,680 円	3,683,403 円
ASR	払い渡しを受けた再資源化等預託金の額	279,694,224 円	368,070,943 円
	再資源化等に要した費用の総額	241,331,678 円	319,782,115 円
	収支	38,362,546 円	48,288,828 円
三品目合計	払い渡しを受けた再資源化等預託金の額	315,389,766 円	410,820,886 円
	再資源化等に要した費用の総額	275,282,506 円	357,231,849 円
	収支	40,107,260 円	53,589,037 円

< 再資源化の実施状況 >

エアバッグ類の再資源化は、引き取ったガス発生器重量が6.4千kgであり、再資源化率は94.1%と、基準値である85%を超える結果となった。

ASRの再資源化は、引き取ったASR重量が11.0千トンであり、再資源化率は80.0%であった。前年度の再資源化率73.5%に対して、6.5ポイント向上し、2015年の基準値である70%を超える結果となった。

◆ 再資源化率

品目	項目	2009年度	2008年度
エアバッグ類	引き取ったガス発生器の重量 ①	6,400 kg	5,996 kg
	引き取ったガス発生器で再利用できる状態にした重量 ②	6,021 kg	5,668 kg
	エアバッグ類再資源化率 ※3	94.1 %	94.5 %
ASR	引き取ったASRの重量 ③	11,034 t	12,237 t
	ASRリサイクル施設へ投入したASR重量 ④	9,695 t	10,154 t
	ASRリサイクル施設で生じた当該ASR由来の排出残さ重量 ⑤	866 t	1,161 t
	ASR再資源化率 ※4	80.0 %	73.5 %

※1 車体からエアバッグを取り外して、インフレーターを回収し、再資源化施設にてリサイクルする方法

※2 車体に取り付けたままエアバッグを展開しリサイクルする方法

※3 エアバッグ類再資源化率 = 引取ガス発生器再利用重量(②) / 引取ガス発生器重量(①)

※4 ASR再資源化率 = $\frac{\text{リサイクル施設投入ASR重量(④)} - \text{排出残さ重量(⑤)}}{\text{引取ASR重量(③)}}$

以上